



東彼杵町消防団夏季総合教育訓練
(8月27日 新港グラウンド)

9月定例会

平成28年度一般会計決算認定は	2 ページ
町政を問う! 6人が一般質問	3~5 ページ
まちづくりに使われたお金	6~7 ページ
議会活動報告	8 ページ
防災情報提供システム	9 ページ
町民の声・編集後記	10 ページ

【議員】町の規則に違反している「倉庫改修工事への補助金約38万円」。町長は6月の議会で「縊密に言えば、違反でありマズカツタ」と答弁された。補助金の返還はどう考えているのか。

【町長】この件については、特別委員会で審議され終了している。審議は自然消滅で終わっています。答弁は致しません。

【議員】「答弁は致しません」という事だが、違反している事業に、補助金返還を求めないという事になれば、貴重なる税金を違法に支出している事になるが。誰がこの責任を取るのか。

行為でされました。今回規則を変えています。町の怠慢ですので、返還は求めません。

計業務を、県に登録されていらない文音堂に何故隨意契約（約173万円）をされたのか。

【町長】指摘のとおり登録されていないのは事実です。しかし、古民家再生というアイデアとかデザイン性があります。執行権の範ちゆうです。だから誰でもいいという事です。タマタマ県の登録業者でなかつたというだけです。

【議員】実施設計がない状態での業者への入札、不可解と思われるが。

【町長】落札後、業者（プラザハウス）から正確な図面が必要という指摘で、文音堂の下請け会社Eアーキテクトにお願いした。

うで進めており、指摘の通り30年度をめどと考えている。今、各校区の説明、一般の方の説明が終わったところでスピーディーにを上げながら進めていく。町の行く末を見つめて英断を行い、誰かがやらなければ歴史は変わらない。

場合は約2億円、彼杵由利用の場合は約1億円、新設の場合は約4億6000万円かかると意見交換会の資料として提示した。

対意見もあり、きのくに学園の説明が充分ではなく原点に返って取り組むという事から再度公募になつた。公募に対する意見交換会を7月に開催し、9月3日に、音琴にきのくに学園の理事長さんを招き学校紹介、意見交換会を開催した。



一冊質問

一 航質問

平成29年10月16日

平成28年度一般会計決算を不認定

※
9月定例会において、決算審査特別委員会は平成28年度一般会計歳入歳出決算を賛成少数で不認定とし、本会議でも賛成少数で不認定と決定しました。

なお、その他の8特別会計決算は全て、全議員一致で認定されました。

※
決算審査とは、議会が決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査すると共に、その行政効果を測定、評価し、次年度の予算編成や行政執行に役立てるための重要な議会の役割です。

認定に賛成の意見

★町のためになっているかを考えたときに、少々の疑義はあるが不認定とするほどの問題ではない。

★監査委員の審査手続きが8項目あり、それに従い審査をしてみたが、町政に対し適正に執行されていることを認める。

★決算は行政効果の客観的判断と、今後の改善や反省事項の把握と活用を主にすることであり、その効果を町の財政運営の適正化に役立てるという、前向きの意義を認め、認定することに賛成である。

認定に反対の意見

☆お試し住宅建設において、整備工事入札後に基本設計業者が長崎県の無登録の業者であることが判明した。このため再度、登録業者に実施設計を発注し、93万3千円で契約した。「基本設計契約時に十分な調査をしていれば防げた、余分な支出であった」と、町長が発言し、自らも認めている。

☆まちづくり支援交付金支出の一部において、町補助金交付要綱・規則に照会し、整合性の取れない不適切な支出があり、町長も自らこれを認めている。

☆町の所有する有価証券(定期預金、株券、債券)の中で、28年度中最も利率・配当が多かった、道の駅(株)彼杵の莊株券200株(時価200万円、28年度配当金15万9千円)を、町長の裁量権の範疇と言えども、独断で譲渡された。道の駅(株)そのぎの莊株券の配当金は約8%と非常に有利な株券であったのに、なぜ譲渡する必要があつたのか。

平成28年度一般会計歳入歳出決算 賛否一覧 (認定 ★4名 不認定 ☆6名)

堀	吉永	岡田	前田	口木	立山	浪瀬	森	大石	橋村
★	☆	★	☆	☆	★	☆	★	☆	☆

その他、まちづくり・地域づくり・コミュニティ活性化事業等

- 東彼杵町滞在型お試し住宅整備事業
事業費24,463,080円(地方創生加速化交付金24,463,000円)
- 地域集落点検調査業務
(トクノスクール農村研究所)・(委託費4,500,000円)
- 地域づくり人材育成業務
(トクノスクール農村研究所) (委託費2,000,000円)
- 写真によるまちづくりプロジェクト
(株式会社シー・エム・エス) (委託費1,836,000円)
- 大学連携地域づくり調査業務
(筑波大学との連携) (委託費500,000円)
- 東彼杵町ICT光のまち整備業務
(西日本電信電話株式会社) (委託費10,688,760円)
- 旧音琴小学校活用検討事業
(株式会社オープンA) (委託費1,198,800円)
- 婚活支援コーディネート業務
(フォープロモーション) (委託費1,944,000円)
- 東彼杵町コミュニティ活性化支援事業
(東そのぎ七夕まつり・そのぎ川まつり) (補助金500,000円)
- 田舎暮らしプロジェクト事業費
777,716円(補助金518,000円)
- 魅力ある一流の田舎空間プランニング事業
(長咲プロジェクト協議会) 事業費2,784,070円(地方創生加速化交付金2,784,000円)
- 東彼杵町小さな楽園創造事業
(東そのぎ木場みのりの会) 事業費2,035,718円(長崎県小さな楽園づくり交付金2,000,000円)
- 東彼杵町起業家支援補助事業
(食堂の起業及び商店街の活性化・パン小売店の起業及び近隣地域の活性化) 総事業費10,224,018円
(補助金2件分6,000,000円)
- lovefes2016長崎水辺の森・参加
(東彼杵町の特産品の販売及びPR) 事業費145,188円 (長崎県町村会地域振興事業助成金145,188円)

約50軒の農家が組合「みのりの会」をつくり、地域活性化に取り組んでいる、木場自治会のモニュメント



まちづくりに使われたお金

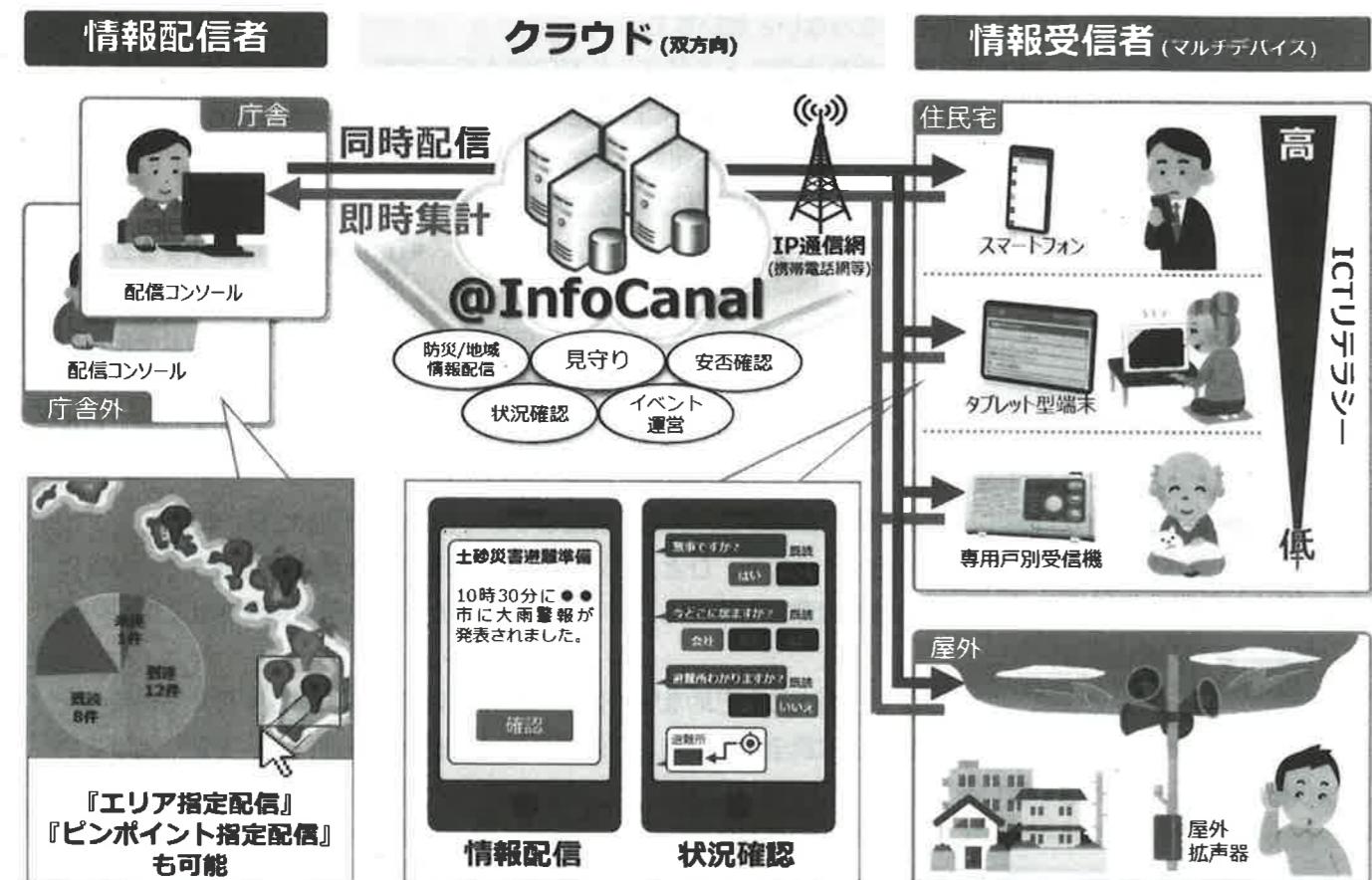
28年・まちづくり支援交付金事業実施状況

(代表者敬称略・単位円)

事業主体	代表者	事業費	補助額	事業要旨
赤木と棚田と自然を守る会	佐野優子	163,080	163,000	休耕地の有機的な活用方法の為の講習会の開催及び情報発信
菌ちゃんいっぱいふやし隊	佐野優子	59,400	59,000	無農薬・無肥料栽培による野菜づくりの実践指導
ミエルカソノギ	佐野優子	36,200	36,000	ヒガシソノギ・見える化プロジェクト(東彼杵町 PR 情報発信)
東彼杵町情報交差点・文ブンクラブ	松島理恵子	200,000	200,000	有田陶器市での町の情報発信
長咲プロジェクト協議会	森一峻	216,000	200,000	デザインディレクター立川裕太氏による地域活性化アドバイス
中岳地区	林田政佳	259,944	200,000	深澤様夏祭り及びバス釣り大会の開催
八反田自治会愛護団体	林博義	200,311	200,000	ほたる祭りの PR 等のための幟旗及びバーベキュー台の制作
異年齢交流会・思案橋	澤登舞	58,566	58,000	コミュニティースペース運営のための商品研究・試作・試食
東彼杵町でのサマースクールの実施を支える会	小路マス子	302,140	200,000	きのくに子どもの村小学校サマースクールを実施
音琴活性化協力隊	音西徳幸	194,341	194,000	旧音琴小学校での音琴秋祭りを開催
坂本地区	川尻定宏	220,528	200,000	稻刈り体験と長崎国際大学との文化交流
ゆるラジオ体操大作戦チーム	古達勇樹	49,338	49,000	ラジオ体操及び朝活による地域活性化
冷やしそのぎ実行委員会	浦川政裕	196,120	196,000	冷やしそのぎのロゴの制作と掲示物及びマップの作成
DiscoverChiwata 実行委員会	森一峻	217,884	200,000	コンニチワサンポミチマップの制作とマップを活用したイベントの実施
そのぎ未来塾	松村昭典	177,212	177,000	町内にある史跡案内板の補修
劇団・秋桜	岩崎千鶴子	205,567	160,000	ミュージカル体験ワークショップの開催

1 オフトークに変わる防災情報提供システム

現在のオフトークサービスは来年3月で終了し、一般のお知らせは茶子チャンネルでお知らせします。また、災害時、緊急時の情報はスマートフォン、タブレット型端末、専用個別受信機でお知らせするようになります。



POINT 1
既存IP通信網の利用
により人口カバー率
99%

POINT 2
大量の端末に
同時配信

POINT 3
端末からの返信を
即時集計

POINT 4
回答内容により
質問が変わる
シナリオ形式
の状況確認

POINT 5
災害時はもちろん
平時でも
活用可能

双方向・マルチデバイス対応の情報配信/収集サービスである@InfoCanalは、高い人口カバー率の携帯電話網やWi-Fi等のIP通信網を利用して、災害時などの通信混雑状態に極めて強い仕組みで簡単・確実な同時配信と即時集計を実現する。これまでの課題である不感地帯対策や到達・鳴動の確認、配信手段の多様化、導入コスト削減・期間短縮、運用負担の軽減などを解決し、災害時でも平時でも様々なユースケースに適用可能。

総務厚生常任委員会調査報告

★総務厚生常任委員会は総務課、まちづくり課、税務課、町民課、健康ほけん課から出された議案を審議、調査する委員会です。

1 調査事件

- ①ふるさと交流センターの現状（調査日 7月20日）
- ②お試し住宅建設の契約と現状（調査日 7月20日、27日）

2 調査内容

- ①ふるさと交流センターは昨年9月から東彼杵町観光協会を引き継いだ組織で、地域協力隊員だった飯塚氏が専属職員となり、これまでの観光協会の事業の他に、グリーンティーリズムツアーや東そのぎうまかもんフェスタやお土産品開発等が計画されている。
- ②里郷に3月末建築された「お試し住宅」は寄付された茅葺き農家を総事業費約2400万円で再生したもので、100%国補助事業である。基本設計を県の無登録の業者と交わしていたため、整備工事入札後に実施設計契約が交わされていた等の問題点が指摘され、町長の管理・監督責任が追及された。



予約がいっぱいのお試し住宅

産業建設文教常任委員会調査報告

★産業建設文教常任委員会は農林水産課、建設課、水道課、教育委員会から出された議案を審査、調査する委員会です。

1 調査事件 肉牛共励会視察研修による価格の動向調査（調査日 6月30日）

2 調査内容

第25回東彼杵郡町村会主催肉牛共励会が佐世保市食肉センターで開催され、郡内から計40頭の肥育牛が出品された。



共励会出品牛の視察

東彼杵町からは15頭出品され、木場郷の宮田孝征さんの枝肉がトップの金賞に選ばれました。

平均単価は2,504円(東彼杵町2,057円)で取引された。

今後、行政・JA・生産者が一体となり、長崎和牛の銘柄確立を図ると共に国内だけでなく、攻めの農業として、海外に向けた日本産和牛としての輸出拡大にも取り組んで行くことが望まれる。

町民の声

親和銀行彼杵支店 支店長 古賀正孝



今から3年前「東彼杵町消滅の危機」と題された、平成26年11月号の東彼杵町広報紙で紹介された特集を覚えていらっしゃるでしょうか。その記事をご覧になりまだまだ先の事だから、とか、他の町の事くらいに考えた町民の方もおられたのではないでしょか。しかし、これはえそらごとではなく、現実に起こりうる危機であることを認識しなければならないと思います。

岩手県知事や総務大臣などを歴任した増田寛也氏の著書「地方消滅」の中で発表され全国的に話題となりました。内容は「2040年(平成52年)には全国の自治体(約1,800)の半分にあたる896市町村が急激な人口減少で行政機能が維持困難となり消滅する可能性がある」というものです。

その中で長崎県内では13市町が消滅可能性都市に該当し、残念ながら東彼杵町もその中に含まれています。我が町が消滅するということですから町民としてはショッキングなものです。もし現実となれば今から22年後のことです。

広報紙の中で、2040年の町の人口は4,938人になると予測されています。現在8,000人余りですのでその減少幅を聞くと末恐ろしくさえ感じます。

これらの危機を回避すべく第二次安倍政権で、東京一極集中を是正し地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした一連の政策「地方創生」が掲げられました。

それに則して自治体が独自に「総合戦略」を策定し、実践、検証していく仕組みが作られています。

当町もさまざまな施策が立てられており、「まち、ひと、しごと」に関する方策を愚直に実践していかなければなりません。恵まれた立地特性や地域資源を町の魅力として最大限に活かして施策を推進させていくのが一番の方策だと思います。

一部の人や行政だけが行うのではなく、個人の利己的な考えに走らずに、自分達の子どもや孫たちに降りかかり困惑する問題であることを認識して、町民全員で参画し「永遠に受け継がれる東彼杵町」を創り上げていかなければならぬと思います。

町民の声 大募集!!

議会だよりへ掲載する町民からの声を募集しています。
ご希望の方は、町議会事務局までご連絡ください。

編集後記

朝夕めつきり涼しくなり秋らしい季節になりました。

皆さんは秋の夜長をどのよう
な形で過ごしておられますでし
ょうか。

9月議会も無事終了し議会
だよりの編集も滞りなく、完了
し発刊に至りました。

皆さんの期待に沿えるよう日
々努力を重ねています。これか
らも議会だよりを楽しみにして
いただけるような紙面作りを目
指します。

町民の皆さんのご意見、ご感
想をお持ちしております。

(口木)

委 員 長	副 委 員 長	議 會 広 報 編 集 常 任 委 員 會
大石俊郎	前田修一	吉永秀俊
		橋村孝彦
		立山裕次